

SMP006-06

会場:303

時間:5月25日 16:00-16:15

## 海洋底かんらん岩の微量元素組成：真のマントル化学組成の追求 Trace element concentrations in ocean floor peridotites: the pursuit of real mantle signatures

森下 知晃<sup>1\*</sup>, ヘルブランド エリック<sup>2</sup>, 永島一秀<sup>2</sup>, 田村 明弘<sup>1</sup>  
Tomoaki Morishita<sup>1\*</sup>, Eric Hellebrand<sup>2</sup>, Kazuhide Nagashima<sup>2</sup>, Akihiro Tamura<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 金沢大学, <sup>2</sup> ハワイ大学マノア校

<sup>1</sup>Kanazawa University, <sup>2</sup>University of Hawaii at Manoa

我々は、海洋底で直接採取されたサンプルを用いて、マントルの化学的特徴を明らかにすることを試みている。海洋底かんらん岩は、様々な程度で蛇紋岩化を受けていることから、局所分析による2次変質を免れた初生鉱物領域の分析が必須である。そこで、SIMS, LA-ICPMSを用いて、微量元素測定を行っている。特に、軽元素に着目すると、しばしば測定値が大きく変動する。発表では、我々が分析する上で直面している問題点と、現在わかってきた化学的特徴について簡単に紹介したい。

キーワード: 海洋底かんらん岩, 2次イオン質量分析計, レーザーアブレーション-ICPMS, フィールドエミッション電子顕微鏡

Keywords: Ocean floor peridotite, SIMS, LA-ICPMS, FE-EPMA